

並木•谷•平山•湯口

目次

- 1.基本機能の紹介
- 2.追加機能の紹介
- 3.個人の成果報告
- 4.システム実演
- 5.よかった点
- 6.反省点
- 7.質疑応答



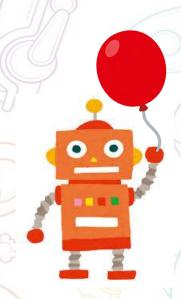
湯口:総リーダー

谷:技術リーダー

平山:デイリースクラムリーダー

並木:成果物リーダー

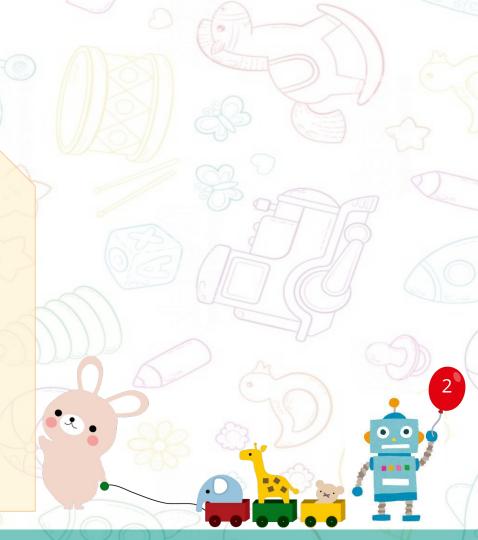
日替わりで進捗リーダー





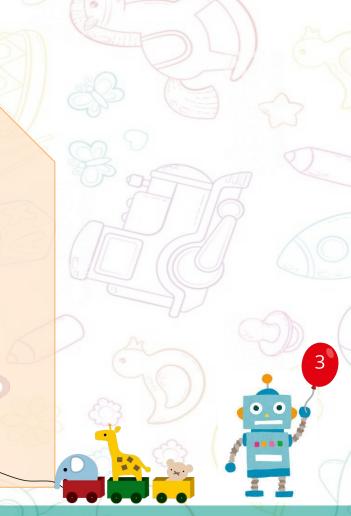
1.基本機能の紹介

- ・ユーザー登録
- ・ログイン、ログアウトする
- 商品の検索、表示
- · 商品詳細表示
- ・ショッピングカート(削除、追加、表示)
- •注文確認画面表示
- ・注文する
- •注文履歴表示



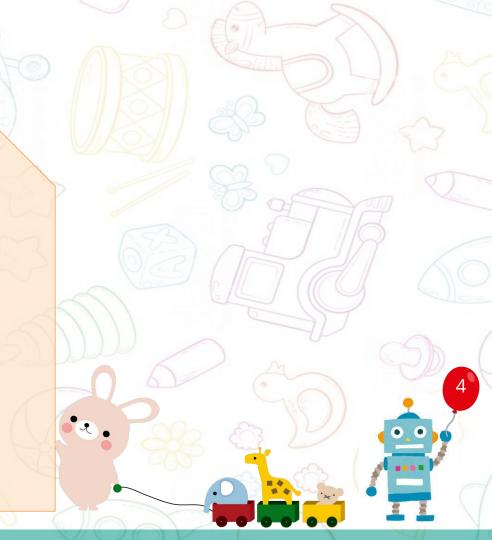
2.追加機能の紹介①

- ログイン前後のショッピングカート内容の統合
- -ユーザー登録時のパスワードハッシュ化
- -SpringSecurityを用いたログイン
- •SpringSecurityを用いた認証
- ・郵便番号から住所の自動取得
- ログイン後のスムーズな画面遷移 (操作途中のページへ遷移)



2.追加機能の紹介②

- ・商品一覧のページング表示
- ・商品一覧の並び替え
- 商品合計金額の自動計算機能
- ・商品検索のオートコンプリート
- クレジットカードの認証情報確認
- ・注文完了時のメール送信
- -404、500エラー時のページ遷移
- ・ファビコン作成



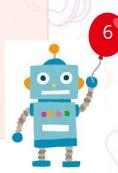
並木:担当機能

- ・ログイン、ログアウト(基本機能/セキュリティーなし)
- ・注文確認画面の表示
- ・注文する
- •住所の自動取得
- ・商品一覧のページング
- ・クレジットカードWEBAPI実装
- ・注文時のメール送信



並木:工夫した点

- ・考える時間を設ける
- →納期を意識し、一つの作業に時間をかけ過ぎない。
- ・他の人が書いたコードを逐一確認
- →pullしたらコードを確認することにより、自身の実装にも役立てた。
- -ユーザー視点での実装
- →ユーザーがスムーズに注文ができるよう入力値チェックをした。



並木: 苦労した点

- ・注文確認リストページの商品一覧表示
- →リストの商品を表示するコマンドは他の方が担当のため、相談して実装した。
- ・実装したことのない機能のコード構築
- →WEBサイトを参照した際、情報の取捨選択及び使い方の理解に時間を要した。



- •商品一覧の表示
- 商品の検索
- •商品詳細表示
- 商品合計金額の自動計算機能
- ・オートコンプリート
- -404/500エラーページ
- -ファビコン追加



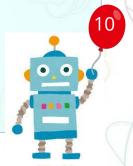
平山:工夫した点

- 時間配分を意識しながら取り組んだ
 - →自分で取り組んでみて、分からないところは周りに質問して解決
- -ユーザー目線で404/500エラーページのデザインを実装
 - →ユーモアや分かりやすさを取り入れた
- ・新たな知識の習得を心掛けた
 - →実装したことのない機能の取組み、理解を深めた



平山: 苦労した点

- ・学びながら実装すること
 - →理解をするのに時間を要した
- ・修正箇所の把握
 - →動作がうまく行かなかった際、どこが間違っているのか見つけること
- 画像の位置調整
 - →HTML、CSSで画像を思った位置に配置すること

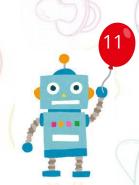


谷:担当機能

・ショッピングカートに注文商品を追加と削除、

カート画面の表示

- ・ユーザー登録
- ・商品一覧ページの並び替え
- ・受け入れテスト時の不具合・修正点解消



谷:工夫した点

- -課題を具体的に伝える
- →チームに対して自分の課題点を細かく伝えるように意識していた
- 時間を無駄にしない
- →問題点やわからないことがあったときに時間を浪費せず

人に質問をするようにした



谷:苦労した点

・商品一覧の並び替え(実装)

→一覧の曖昧検索・ページングは他のメンバーが作成していた

そこに加える形で並び替え機能を実装した点

・ドメイン図の関係性の把握

→全体的な仕様の把握





湯口:担当機能

- ・注文履歴の表示
- ログイン前後のショッピングカート内容の統合
- -ユーザー登録時のパスワードハッシュ化
- -SpringSecurityを用いたログイン
- -SpringSecurityを用いた認証
- -ログイン後のスムーズな画面遷移(操作途中のページへ遷移)
- ·その他統合テストや受け入れテスト時の不具合·修正点解消



湯口:工夫した点

- チームメンバーとのコミュニケーションの実施
 - →進捗確認や疑問解消、共有などを積極的に行った
- ・全体感の把握
 - →アプリ全体の挙動を確認し全体的な品質向上やエラー解消に努めた
- ・読み手を意識
 - →複雑な処理のコードはコメントを具体的に記載した



湯口:苦労した点

- 実装イメージのわかないユースケースの開発
 - →完成の目処が立たずに精神的なストレスがあった

自身の開発に追われてメンバーの疑問点を解消できない時があった

- ・疑問点を解消するための情報収集
 - →公式ドキュメントなどを読むのに必要以上の時間を要した



- ・ログイン前後のカート内容の維持
- ログイン後に操作途中のページへアクセス
- ・並び替え
- -注文確認画面
- 商品詳細画面の自動金額計算
- -404/500エラーページの表示

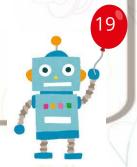




5.よかった点



- ・メンバー個々が自身のやるべきことを理解しながら進められていた
- チーム内で問題を解決し合える雰囲気があった
- ・疑問点が出て解決した際にチームに共有してた



6.反省点



- ・GitHubのコミット頻度の共通認識を持っておくと良かった
- ・コードをもっと簡略化するべきだった(メソッド化等)
- ・独自の追加機能を実装する時間を確保すべきだった
- •担当外の機能の理解を深められると良かった

20



